

上田記念財団の奨学金

令和7年4月

大学で土木を学ぶ学部生・修士生へ

募集要項
記入要領

添付 第16期 願書

一般財団法人 上田記念財団

**令和7年4月度上田記念財団
第16期大学(学部生・大学院修士課程)奨学生 募集要項**

1. 奨学金支給の趣旨

当財団は、大学において土木工学を学び、自然公物の管理や社会基盤である資産の建設などに関わり、人の生活や生命を守ることにより社会貢献しようと志す学生を支援します。

2. 当財団奨学金について

- 1) 奨学金は給付とします。原則として返金を求めることはありません。
- 2) 当財団の奨学金の併給はできませんが、他団体等の奨学金との併給は問いません。
- 3) 学部生で奨学生であったものが修士課程進学時に再度奨学生として応募することも可能です。

3. 応募資格(令和7年4月1日現在)

- 1) 土木工学系の学生であること
- 2) 学部3年生または大学院修士課程1年生に進学する者であること
- 3) 応募時の年齢が以下の範囲であること
 - ① 大学学部3年生は年齢23歳未満の者
 - ② 大学院修士課程1年生は年齢25歳未満の者
- 4) 財団の奨学生行動基準を守ることができること

4. 募集する奨学生の審査要件

- 1) 将来、土木工学を活かした職業に就職する意志を持つ者であること
(建設関係企業など。研究職や教職・公務員を含む)
- 2) 人物、学力ともに優れかつ健康である者
- 3) 経済的な援助を必要とする理由があること

5. 奨学金の金額および支給期間

- 1) 金額 月額 6万円
- 2) 支給日 3か月分ずつを毎指定月の15日に本人名義の口座に振り込みます。
- 3) 支給期間 原則として2年間としますが、退学・卒業などにより変動します。

6. 応募方法

- 1) 大学経由での応募となります。下記の書類をそろえて大学に提出してください。
- 2) 提出書類
 - ① 願書(写真要) ※願書は自署としてください。
 - ② 大学学長または学部長または土木系研究科専攻長の推薦書
 - ③ 成績証明書等履修結果・成績を証明するもの
 - ④ 作文700字以上800字以内(テーマ指定)作文のテーマは大学に送付していますので大学にお問い合わせください。

7. 提出締め切り

大学を経由しますので必ず大学への提出期限を確認し、締め切り日を守ってください。
なお、財団への提出期限は令和7年4月30日(水)となります。

8. 募集人数 省略(大学に送付の募集要項を確認してください)

9. 選考結果については、5月中旬に大学を通じて通知します。

10. その他注意事項

- 1) 建築系を目指す方は、今回の募集の対象となりませんのでご注意ください。
- 2) 推薦書は原則として、学部生は学部長推薦書、修士生は専攻長推薦書とします。担当教授の推薦書の場合は学長の推薦書(様式は任意です)を添付してください。
- 3) 応募書類は返却しません。当財団の規則により個人情報として適切に扱います。
- 4) 奨学生就職時における就職先等進路の自由を制約するものではありません。
- 5) 奨学生には負担の無い範囲で財団の活動に協力してもらう場合があります。
- 6) 2年目の確認時、在学証明書など所定の届出をしてもらいます。
- 7) 願書以外の申請書式(推薦書式、作文書式)は大学に送付していますので大学の担当部署にお問い合わせください。
- 8) 上田記念財団の「高専奨学金」を過去に受給された方の応募も可能です。
- 9) 上田記念財団の奨学生の行動基準 3の4)の補足
 - ①土木工学及び関係する諸学問を学び、それらを活かした職業に就くことを志す
 - ②学業や仕事に対して真摯に取り組み他の模範となる気概を持つ
 - ③学問の探求や技術の研鑽にたゆまざる努力を怠らない
 - ④身につけた自然科学の知見を人の生活の向上や幸福のために最大に活用する
- 10) なお、今年度から学費や諸物価の値上がりを考慮し、20%の増額を決定いたしました。

(メモ) 大学への提出期限

願書記入要領(大学・修士)

【筆記具】

黒のボールペンで自署で記入する。

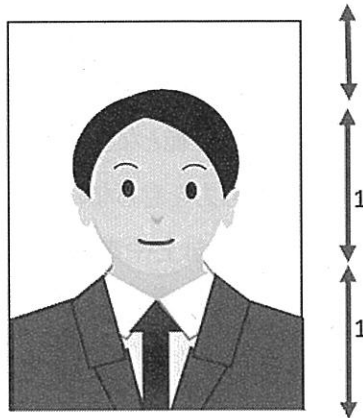
【顔写真について】

正面から撮影、鮮明なもの。カラー。帽子は被らない。

撮影2か月以内。

横3.5センチ縦4.5センチに切って貼り付ける。

上部を少し開ける 顔と体の比は、1:1ぐらい。(下の図を参照)



【記入上の注意】

※願書左端の小数字の順に説明しています

- 1 願書の作成日付。
- 2 ひらがなで氏名の読み方を記入。□男□女いずれかをチェックする。
- 3 氏名を書く。
- 4 和暦で。記載日の年齢。
- 5、6 願書記入日現在の郵便番号、住所を記入
- 7 携帯電話など、普段連絡できる電話番号。研究室の電話の場合は、研究室と記入。
- 8、9 下宿や寮、学校付近のアパートの場合、帰省先を記入。自宅通学の場合は(5、6)と同じ
- 10 帰省先(親家など)の電話番号を記入。
- 11 学校名から学部学科、大学院研究科、専攻、および学年を記入。
- 12 高等学校を記入する。
- 13 大学、学部等を記入する。学部生の場合は卒業見込み年月を記入する。
- 14 学部生は空欄。修士課程の学生が記入する。卒業は見込み年月を記入。
- 15～21 2親等以内の者を記入する。父母→兄弟姉妹、祖父母(、子、配偶者)
主たる生計者(記入者の家計を支えている者)に丸印を付す。
父母以外が主たる生計者の場合は3親等以上(例えば叔父叔母など)でも記入する。
年収は、令和6年分(令和6年1月～令和6年12月)について記入する。
- 22～24 記入者の生活について、一般的な月の主な収入と支出を記入する。
奨学金の受給については、返済可否を記入すること。
- 25 当奨学金を受給したい理由を簡潔に記載すること。箇条書きでもよい。
- 26 希望進路をチェックする。下段に進路について考えていることを記載。
- 27 当財団奨学金を受給していた場合は記入。ない場合はチェックのみ。
- 28 普段の健康度の状態を申告する。
- 29 氏名を自署し、押印する。